

第8章 全国のコミュニティビジネス活性化の動き

8-1 コミュニティビジネス活性化策の現状

1. 国の関連施策

国においては社会貢献性のあるビジネス全般の呼称をソーシャルビジネス（SB）に統一する方向を打ち出しています。コミュニティビジネス（CB）はソーシャルビジネスの中で「地域性」という条件を満たしたものであり、ソーシャルビジネスの一部という定義をしています。

そのため、国の関連施策の中にコミュニティビジネスという言葉は使われず、ソーシャルビジネスという表現で統一されていますが、本報告書では、ほぼ同義として以下の国の施策を紹介します。

(1) 新しい公共円卓会議

「新しい公共」とは、公共的なサービスの提供を、官だけでなく、市民、NPO、企業など多彩な担い手によって推進していこうというものです。

「新しい公共」円卓会議は、第173回国会における鳩山首相（当時）の所信表明演説に基づき、「新しい公共」という考え方やその展望を市民、企業、行政などに広く浸透させるとともに、これからの日本社会の目指すべき方向性やそれを実現させる制度・政策の在り方などについて議論を行うことを目的として開催されました（座長：金子郁容慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）。

議論の結果は平成22年6月4日の第8回会議で「新しい公共宣言」（※）として発表されました。

※新しい公共宣言

「新しい公共」の重要性を示すとともに、国民、企業、政府に対する期待と提案を盛り込んだものの。宣言文の中で「社会的課題を解決するためにビジネスの手法を適用して活動する事業主体は、社会に多様性をもたらしている」として、新しい公共の担い手としてのSB（CB）を位置づけています。

(2) 各省庁のコミュニティビジネス関連施策

① 内閣府：地域社会雇用創造事業（平成22年度、23年度事業）

雇用対策の一環として、社会的企業における人材育成・雇用促進に対して支援を行う「地域社会雇用創造事業」が展開され、全国12の団体が事業を実施しています。

この事業は、国の地域社会雇用創造事業交付金を活用して社会的企業の創業および人材創出を支援するなどの事業を実施し、地域社会における事業と雇用を加速的に創造することを目的として実施するプロジェクトです。

そのうちのひとつが「みたか身の丈起業塾」です。（主催：みたか社会的企業人財創出コンソーシアム、構成団体：株式会社まちづくり三鷹・NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構）

平成22年度は起業塾は3期実施され、ビジネスプランコンペティションも開催されました。

平成23年度も引続きプロジェクトが継続されます（2年間の事業）。

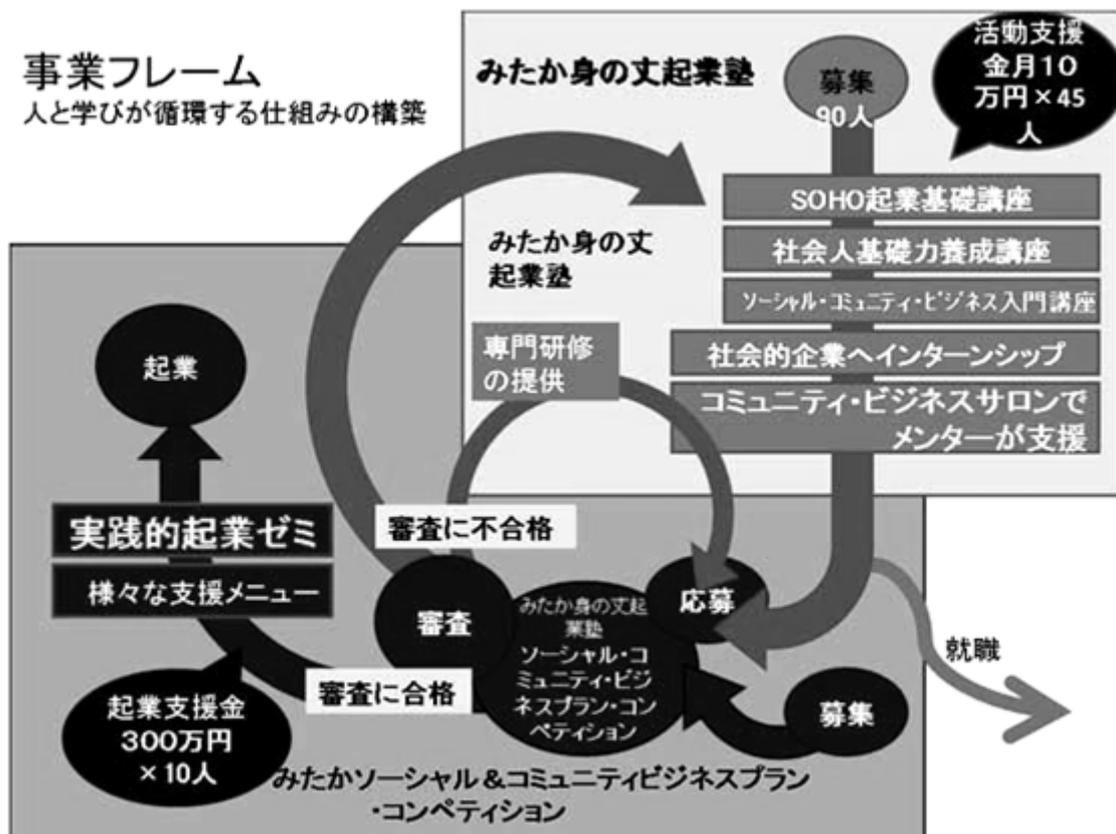


図 みたか身の丈起業塾プロジェクト事業フレーム <http://www.mitaka.ne.jp/minotake/project.html>

同様な事業フレームで、全国で12の団体によるプロジェクトが実施されています。

23年度以降は、新しい公共の活動の阻害要因を解決し、新しい公共の担い手となるNPO等の自立的活動を後押しする「新しい公共支援事業」が展開される予定です。

② 厚生労働省：ふるさと雇用再生特別交付金（平成20年度～）

雇用情勢が厳しい状況にあるなかで、地域の実情に応じて、その創意工夫に基づき、地域求職者等の安定的な雇用・就業機会を創出する取り組みを支援するため、都道府県に対して交付金を交付し、これに基づく基金を創設。

③ 文部科学省：NPOによる文化財建造物活用モデル事業（平成19年度～）

NPO等が提案する文化財建造物の活用事業案のうち、独自性や創造性に富み、実現性に優れたものを選定し、活用モデル事業として委嘱して実施することにより、モデル事例の創出を図る。

④ 国土交通省：空き家再生等推進事業（平成20年度～）

地域コミュニティの維持・再生を図り、持続可能な地域づくりを進めるため、地方公共団体または地方公共団体が補助する者の行う、空き家・空き建築物の活用による地域活性化の取り組みを支援する。

⑤ 農林水産省：未来を切り拓く6次産業創出事業のうち新事業創出人材育成事業（平成22年度）

農林水産業及び農山漁村に由来する「資源」の画期的な活用方法の創出等、農林水産分野にお

ける新事業の創出に全国各地で携わる人材を育成するため、人材育成プログラムの開発等を実施。

⑥ 経済産業省：先進事例他地域移転事業（平成 21 年度～）

自立的・持続的に自らが実施しているコミュニティビジネスの事業モデル・ノウハウを他の類似の課題を抱えている他地域の事業者に移転し、当該地域の課題を自立・持続的な事業を通じて解決しうる新たなコミュニティビジネスを育成するための事業の支援を実施。

⑦ 環境省：事業型環境 NPO・社会的企業中間支援スキーム事業（平成 21 年度～）

低炭素社会形成に必要な不可欠な新しい経済セクターとしての事業型環境 NPO・社会的企業の普及、確立を通じ、環境 NPO の経済的自立化を進めるとともに、環境と経済の好循環を実現する新しいまちづくりを全国的に広げ、もって低炭素社会を地域レベルから構築する。

2. 都道府県と政令指定都市の関連施策

※ソーシャルビジネス推進研究会（経済産業省）アンケート調査より（平成 22 年 9 月、全国 47 都道府県および 19 政令指定都市に対して実施）

(1) 取組状況

コミュニティビジネス振興に取り組んでいる（取り組んでいた）都道府県と政令指定都市は 58 であり、8 割以上が何らかの形で取り組んでいる。

※自治体の中で、コミュニティビジネス推進を展開している部局は以下のとおり。

商工・産業振興関連：54 自治体 市民活動推進関連：13 自治体

総務・企画関連：8 自治体 その他（福祉関連他）：8 自治体

※財団法人、商工団体、NPO 法人等の中間支援機関に、何らかの委託をしながら展開しているケースも多い。

(2) 施策内容

① 事業者支援

○ 予算による補助・委託支援

- ・事業者に対し、何らかの形で予算による補助・委託支援を行っているのは、30 自治体程度。
- ・ふるさと雇用再生特別交付金等の緊急雇用対策メニューを活用しているのは、20 自治体程度。
- ・テーマ（子育て・高齢者等）を絞りながら、支援を実施している事例も見られる（茨城県、岐阜県、熊本県、等）。
- ・商店街振興等と連携しながら展開している事例も見られる（仙台市、埼玉県、千葉県、等）。

○ 資金調達支援

- ・融資制度の創設や S B 向けのファンド組成に取り組んでいるのは、それぞれ 10 自治体程度。
- ・金融機関や財団等と連携している事例も見られる（札幌市、横浜市、富山県、島根県、等）。

○ 人材育成支援

- ・起業塾や経営塾等による人材育成を行っているのは、30 自治体程度。
- ・大学と連携しながら取り組んでいたり、高校・大学への出前講座を展開している事例も見られる（川崎市、岡山県、等）。

- ・遠隔地においても、インターネットを活用したテレビ会議や集合研修を組み合わせながら、うまく展開している事例も見られる（高知県）。

○ 支援員の配置・経営アドバイザーの派遣

- ・支援員の配置や経営アドバイザーの派遣を行っているのは 25 自治体程度。
- ・自治体職員や中小企業診断士など、様々な経営アドバイザーを派遣している事例も見られる（神奈川県、福岡市、等）。

② 普及・啓発支援

○ 民間に対する普及・啓発

- ・セミナー等の普及・啓発イベントを行っている自治体は 30 自治体程度。
- ・市民や企業の CSR（企業の社会的責任）担当者等を対象に現場視察を行ったり、キャラバン形式により域内各地で展開している事例も見られる（横浜市、相模原市、高知県、等）。
- ・ビジネスプランコンテストやアワード等として開催し、助成しつつ展開している事例もみられる（さいたま市、神戸市、等）。

○ 自治体等に対する普及・啓発

- ・民間から任期付き職員を採用しながら支援に取り組んだり、職員向け研修を実施しながら、自治体への普及・啓発を進めている事例も見られる。（札幌市、千葉市、等）

③ ネットワーク支援

- ・セミナーや交流会等を開催しているのは、30 自治体程度。
- ・地域で「協議会」や「円卓会議」を設置し、自治体・商工団体・金融機関等の関係者を幅広く巻き込んで、推進に向けて取り組んでいるのは 15 自治体程度。

④ 企業との連携・協働支援

- ・企業との連携・協働に特化して取り組んでいるのは 5 自治体程度と少ない。
- ・企業と NPO のマッチングに取り組んだり、自治体と企業の協定を結ぶなど、幅広く取り組んでいる事例もみられる（札幌市、横浜市、等）。

⑤ その他

以上のカテゴリ以外にも、自治体ごとの工夫により、様々な支援を展開している。

○ 事業認証支援

- ・SB/CB事業者の事業認証を行い、優遇制度を設けて支援している事例も見られる（福井県、徳島県、鹿児島県、等）。

○ 状況把握のための取組

- ・データベースを作成する等、域内の事業者の調査を行ったり、ニーズの掘り起こし調査を行っている事例も見られる（秋田県、長崎県、等）。

○ 空きスペースの積極活用

- ・廃校や商店街等の空きスペースをうまく活用して支援を展開している事例も見られる（千葉県、名古屋市、等）。

8-2 中間支援事例 港南台タウンカフェ(横浜市港南区)

1. 団体プロフィール

- ・徹底した地域連携を行なうことで活動の輪を広げる
- ・「発信」することが中心ではなく「つながっていく」ことを目指した取り組みの実践

団体名	港南台タウンカフェ	事業分野	コミュニティカフェ
		設立年	2005年
所在地	横浜市港南区港南台 4-17-22 キタミビル 2階		
URL	http://www.town-cafe.jp/kounandai/	活動エリア	横浜市港南区港南台

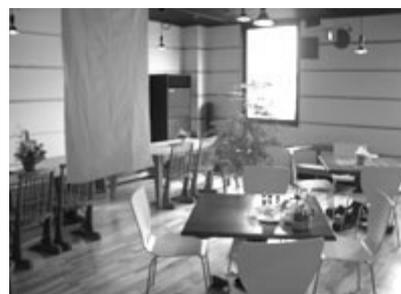
2. 目指すこと

港南台のまちづくり。

人が集い、情報が交わり、つながりづくりからうまれるまちづくりプロジェクト。

3. カフェコンセプト

商店街の一角に場を作るにあたって、商店会の人たちだけが集まるのではなく、もっと広くどこからでも、誰でも入ってこられるような場所を作りたいと考えた。そこで行き着いたのがタウンカフェである。カフェであれば、関係者でなくても、誰でも自由に入ることができる。高校生が携帯でメールしている横で、おじさんたちが議論しているというような雰囲気を理想としてカフェの開設に取り組み始めた。



店内。セルフサービスのカフェサロンは、いろんな用途に使える、約20席の木作りの空間

4. 設立の経緯

株式会社イータウンが横浜港南台商店会ホームページ管理更新をきっかけに、地域のコミュニティサロンでもあり、まちづくり事務局機能を持つ、港南台タウンカフェをオープン（2005年10月）。

5. 運営体制

横浜港南台商店会、株式会社イータウン、まちづくりフォーラム港南の三者による共同運営。タウンカフェ内に事務局を設置して運営にあたっている。また、地域の自治会・町内会をはじめ、NPO・ボランティア団体などと連携して、地域交流や地域活動の推進を行うとともに、市民が気軽に参加できる仕組みを取り入れ、主婦、シニア、ビジネスマンなど多くの市民参加型の運営を実践している。

6. 事業内容

(1) 港南台テント村の市民運営

商店会が主催してきたテント村（年8回）の企画・運営を広く市民に参加してもらい、企画内容の充実や開催頻度の向上を行う。

(2) 地域情報事業

横浜港南台商店会のホームページを再構築し、商店会の若手メンバーや、自治会、市民グループ等が参加して地域ポータルサイトとして運営し、情報面からも地域の活性化をめざす。

- ・地域ポータルサイト「こうなんだい e-town」運営
- ・かわら版発行：紙媒体での通信「タウンカフェ通信」の発行（年2回程度）
- ・港南台子育てマップ発行協力（発行：港南台子育て連絡会）

(3) カフェサロンの運営

一般の市民も気軽に立ち寄れる街中のカフェサロンを設置。事務局は地域情報事業運営やカフェサロン、パソコン相談などの事業を行う。

また、カフェスペースを活用したレンタル棚「小箱ショップ」や会議スペースの提供サービスなどを行う。

- ・カフェサロンの運営
- ・会議スペースの提供
- ・レンタル棚「小箱ショップ」事業



小箱ショップ。手作りのバッグや布小物、アクセサリ、ハンドメイドクラフトなど、80を超える作家さんの作品が並ぶ。

(4) 地域交流・活性化イベントの企画運営

地域の市民が主体となったまちづくりイベントの企画運営を行う。

- ・音楽通り inCAFE
- ・まちサロン inCAFE（まちづくりフォーラム港南主催）

- ・港南百景プロジェクト（港南デジタルアーカイブ主催）
- ・キャンドルナイト in 港南台（市民運営チーム：2007年6月開催）
- ・小箱スクエア
- ・港南台子どもウォークラリー（2006年11月開催）
- ・パソコン相談事業（まちづくりフォーラム港南に運営委託）
- ・新潟被災地支援チャリティーイベント（2005年11月開催）
- ・港南台国際協力まつり（横浜 NGO 連絡会主催：2006年7月、2007年7月開催）



駅からすぐ近くの港南台テント村で開催されるフリーマーケット中心の地域交流イベント。毎月2回多くの出店で賑わっています（夏・冬を除く）

(5) まちの事務局運営

商店会事務・企画機能の拡充とともに、地域の事務局としての機能を持ち、市民活動を行なおうとする人の支援とコーディネートを行います。

- ・横浜港南台商店会事務局
- ・まちづくりフォーラム港南事務局
- ・横浜港南地域情報サイト e-town 事務局
- ・港南 JAZZ フェスティバル事務局

(6) その他

- ・まちかど交流ステーション事業 2007年～（港南区との協働）
- ・よこはま若者サポートステーション研修
- ・貸しギャラリー、・地域交流コーディネート
- ・タウンシェフ養成（人材育成）
- ・ウォールポケット（ちらしラック）
- ・イベント・もっと×2交流ステーションの企画運営 など

8-3 中間支援事例 NPO 法人 ACOBA(我孫子市)

1. 団体プロフィール

- ・講座受講生から生まれたCB中間支援組織
- ・シニアの専門性を生かして地域密着で自らCB事業者として自立運営を目指す

団体名	NPO 法人 ACOBA	事業分野	CB中間支援
		設立年	2005年
所在地	我孫子市本町3-7-10 ABIKOs 2階		
URL	http://www.acoba.jp	活動エリア	我孫子市

2. 目指すこと

少子高齢化・成熟複雑社会の到来の中にあつて、地域を愛するものたちがコミュニティビジネスの手法を活用し、生き活きとした地域づくりに取り組む。自らも事業を行いつつ、中間支援団体として商工業・NPO・地域活動を目指す人たちを支援する。

3. 設立の経緯

2003年1月に我孫子市主催で開催された「コミュニティービジネス起業講座」を卒業した人のなかで、継続した活動に関心を持つメンバーが集まり、2003年4月に研究と親睦、またCB起業のサポートを目的に「我孫子コミュニティービジネス協会」を結成した。その後その会が発展して、2005年8月に「NPO法人ACOBA」が設立された。

4. メンバー構成

会員は、我孫子市在住の会社員や主婦、市民活動家、行政書士、中小企業診断士等で構成されている。年齢層は50～60歳代が中心で、男女比は3対2であり、地域に根ざしたメンバーで構成されている。

5. 事業内容

本法人は、以下の事業部を設置して活動している。

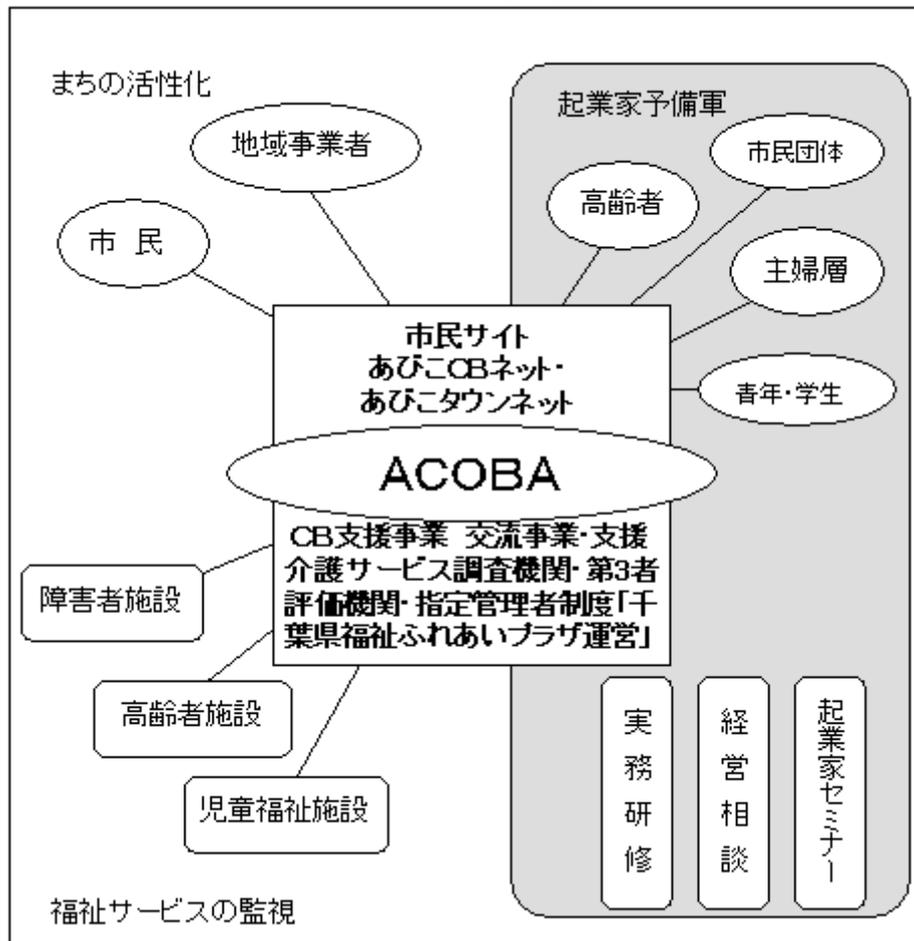
- (1) 地域ビジネス支援事業部
- (2) 福祉サービス評価・調査事業部
- (3) 指定管理者事業部
- (4) 開発事業部
- (5) 交流・観光事業部
- (6) ネット事業部

(7) 指定管理者第三者評価事業部

(8) インキュベーションオフィス事業部

このうち、(2) の福祉サービス評価・調査事業部（介護サービス情報公表調査機関，その他）と、(3) の指定管理者事業部（総合的介護予防施設：千葉県福祉ふれあいプラザの管理を行う事業）の二つの事業部が実施している事業は、千葉県から受託している現在のコア事業で、事業収入の大半を占めている。

プロジェクト図



ACOBABAで活用する資源マップ http://www.acoba.jp/11_acoba_info/syoutkai.html

(1) 地域ビジネス支援事業部

コミュニティビジネスに関する相談対応・起業講座・イトローカドーと連携したチャレンジショップ事業など、コミュニティビジネスの中間支援団体として、独自にさまざまな支援事業を行っている。

・地域ビジネスホットライン

起業から経営・組織運営等、様々な相談を受け、事業に成長・発展させるためのアドバイス・支援を行う。初回は、原則として1時間、無料。

・あびこ起業家養成塾

・市民チャレンジショップ

イトローカドー1階エントランススペースを活用した出店ブースで、オリジナル商品の対面販

売にチャレンジし、ビジネス化の可能性を探る試み。出店者は起業家養成塾受講生を中心とし、セミナーの成果を高め、起業家の育成を推進している。

(2) 福祉サービス評価・調査事業部

福祉サービスにおける千葉県認証選定・指定機関として、福祉サービスの評価・調査を実施している。

(3) 指定管理者事業部

2006年3月24日付けで長寿社会文化協会・ACOBA 共同事業体が千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理者に指定され、2009年4月1日からは指定管理第2期目に入っている。

東葛地域の新しい県民施設の共同指定管理者として、ACOBA 会員12名が、ふれあいホールとギャラリーの管理運営、介護実習センターで行う県民講座などの業務を担っている。



千葉県福祉ふれあいプラザ(けやきプラザ)

(4) 開発事業部

事業部として立ち上げる前の段階の新しい事業を行う部門。1～2年の試行期間を経て可能性を検証し、事業化が見込まれるものは事業部へ発展する。

(5) 交流・観光事業部

我孫子市・我孫子市近隣・全国・海外の市民活動団体・企業・NPO法人・地域の人々と交流を深め、情報交換、研修、親睦の場を提供するとともに、出会い・語らいを通して、自己実現、自己再発見、地域再認識、地域参加へのきっかけづくりの場としている。

・ ツアー企画

我孫子でのまちづくりの参考にする事を目的に、全国各地域のまちづくり活性化のケース・市民活動団体を訪問。

・ あびこ探勝・出会い塾

あびこの文化遺産の施設を活用し、地域を知るとともに、日頃、交流のチャンスのない独身の方たちへ出会い・語らいの場を企画提供。

(6) ネット事業部

ACOBA のホームページを運営・管理。

(7) 指定管理者第三者評価事業部

横浜市の指定管理者第三者評価の実施を行う 20 の評価機関の一つとして、評価業務を実施している。

(8) インキュベーションオフィス事業部

2007年3月1日に、民間が運営するインキュベーションオフィスとしてABIKO^sを立ち上げ、運営している。

我孫子市の中心地（我孫子駅南口より徒歩5分）に立地し、建物の2階には6つの企業と団体が入居できるスペースがあり、1階には約20坪の多目的レンタルスペースを設置している。



参考資料①

小平市いきいき協働事業 講座実施報告

- ・コミュニティビジネス入門講座
- ・コミュニティビジネス起業講座

参考資料① 小平市いきいき協働事業 講座実施報告

コミュニティビジネス入門講座

1. コミュニティビジネス入門講座の概要

(1) 目的

まちに必要な商品・サービスを、地域に暮らす人自身が作り出し、まちを元気にするコミュニティビジネスの入門として、まちが元気になるヒント、ボランティアではない地域貢献の方法、コミュニティビジネスの事例などを学ぶ。

(2) 日時

9月12日(日) 午後1時~4時45分

(3) 参加人数

50名

(4) コミュニティビジネス入門講座プログラム



① 基調講演

- ・テーマ：コミュニティビジネスでまちを元気に～地域づくりから地域ビジネスへ
- ・講師 富永一夫氏（特定非営利活動法人 NPO フェージョン長池 理事長）
- ・講師プロフィール：日本テトラパック株式会社に 21 年間勤務。在職中より地域活動に関わる。1999 年に会社 を退職し、特定非営利活動法人 NPO フェージョン長池を設立。多摩ニュータウン地域を中心に「暮らしの支援」活動を展開している。著書は『多摩ニュータウン発・市民ベンチャー NPO「ぼんぽこ」』（NHK 出版）ほか多数。

② 事例紹介

○ 事例 1 「一緒に子育てをしましょう！」

- ・講師：小俣みどり氏（NPO 法人 子育てネットワーク・ピッコロ）
- ・NPO 法人 子育てネットワーク・ピッコロ
預る理由を問わない（病児・病後児も含む）24 時間対応（緊急時も対応）の訪問保育事業をはじめ、イベント時の団体保育・産前産後育児支援・子育て情報誌の作成など、子育て支援に関するさまざまな活動を、清瀬市を中心に近隣の対応可能な限りの地域で実施している。

○ 事例 2 「元気にただいま！って言いたくなる家庭空間を実現したい！」

- ・講師 三木智有氏（tadaima）
- ・tadaima!

「ただいま！と言いたくなるような空間を実現することで、仕事や生活に対して、前向きに向き合う機会を創造する。」というミッションを掲げ、住環境や生活環境を改善する事業を行っている。「子どもと一緒に片づけワークショップ」では、親と子が一緒になって片付けを考え、学び、実践して行く場を提供している。

③ ワークショップ「ワールドカフェ」

参加の皆さんの思いを「ワールドカフェ」の手法で語り合い、まちへの思い、コミュニティビジネスの可能性を共有しました。

・ワールドカフェの問い

セッション1：暮らしているまちがどんなまちになってほしい？

セッション2：そのためにできることはどんなこと？

セッション3：まちを元気にする仕事ってなんだろう？

※ワールドカフェ

「カフェにいるときの気軽な雰囲気」で「会議のような真剣な討議」を可能にするために設計された新しい話し合いの方法です。(P17を参照)

2. コミュニティビジネス入門講座のアンケート結果より

(1) 参加者について

男女比はほぼ同じで、20～60代まで幅広く参加しました。

男女比：男性（53%） 女性（47%）

年齢分布：20代（26%） 30代（25%） 40代（12%） 50代（16%） 60代（21%）

(2) 主な参加目的

- ・小平を元気なまちにしたい。そのきっかけづくり。
- ・地域を元気にすることに意思を持つ人たちと交流を持ちたい。
- ・今後の自分の仕事と地域のあり方について、勉強したい。
- ・今の仕事ではやりたいことがなく、地域の役に立っているという気がしない。なにかヒントがほしくて。
- ・NPO法人を経済的に安定させたいので事例を知りたい。

(3) 感想より

- ・行政の役割が理解できた。
- ・世代が違う方々との交流が新鮮だった。まずはネットワーク作りが大切だと思った。
- ・地域住民のニーズに根ざした事例が良かった。
- ・何かやれそうな感じが、むくむくと湧いてきた。
- ・実際の事業の具体的な経緯が聞けてよかった。

(4) 要望

- ・時間配分の考慮を。質問時間がもっとほしい。
- ・ワールドカフェが面白かったなので、今後も続けてほしい。

コミュニティビジネス起業講座

1. コミュニティビジネス起業講座の概要



まちづくり、環境、介護、子育て支援…など、まちを元気にする活動を、ビジネスの手法で進めるのがコミュニティビジネスです。新しい起業の形であなたの想いを実現してみませんか？

■日時■
10月13日(水)～12月8日(水)
連続8回 午後7時～9時30分

■場所■
小平市中央公民館 学習室4
(東京都小平市小川町2丁目1325)
西武多摩湖線青梅街道駅徒歩5分

■対象■
コミュニティビジネスの起業に関心のある市民

■内容■
CBの基礎知識、キャリアのたな卸し、CBノウハウ、情報発信、事業プランづくり

■参加費／5,000円
■定員／20名(先着順)

小平市いきいき協働事業 **はじめよう！まちを元気にする仕事！**
コミュニティビジネス起業講座

(1) 目的

まちづくり、環境、介護、子育て支援…など、まちを元気にする活動を、コミュニティビジネスという新しい起業の形で想いを実現していくために、実践者からの具体的なケーススタディをとおした起業ノウハウ、さらに事業計画づくりまでを学ぶ。

(2) 日時

10月13日(水)～12月8日(水) 連続8回 午後7時～9時30分

(3) 参加人数

21名

(4) コミュニティビジネス起業講座のプログラム

① 第1回：コミュニティビジネスとは

- ・日時：10月13日(水)
- ・内容：コミュニティビジネス概論、事例紹介
- ・講師：竹内千寿恵氏(NPO法人Mystyle@こだいら代表理事)

② 第2回：実践から学ぶコミュニティビジネス（1）

- ・日時：10月20日（水）
- ・内容：「NPO 法人シニア SOHO 普及サロン三鷹」の協働事例
「どこ竹@竹とんぼ教室」の信頼作り
- ・講師：堀池喜一郎氏（NPO 法人シニア SOHO 普及サロン三鷹前代表理事）

③ 第3回：実践から学ぶコミュニティビジネス（2）

- ・日時：10月27日（水）
- ・内容：現在進行中！小平でコミュニティビジネスをスタート
「株式会社タウンキッチン」30代・現役世代のチャレンジ
- ・講師：北池智一郎氏（株式会社タウンキッチン代表取締役）

④ 第4回：キャリアの棚おろしと活かし方

- ・日時：11月10日（水）
- ・内容：自分のキャリアの棚おろしをして、起業に向かって強みを確認
- ・講師：岩嶋寿子氏（NPO 法人Mystyle@こだいら事務局、キャリアアドバイザー）

⑤ 第5回：コミュニティビジネスのノウハウ

- ・日時：11月17日（水）
- ・内容：事業コンセプト・組織形態・財務・営業・人材・組織マネジメント
- ・講師：百田浩氏（NPO 法人Mystyle@こだいら監事、(株)グッドデイズ代表取締役）

⑥ 第6回：事業ブランディングと伝える力

- ・日時：11月24日（水）
- ・内容：事業のコンセプトづくりと情報発信。広報ツールを活用するコツ
- ・講師：竹内千寿恵氏

⑦ 第7回：事業プランの作り方

- ・日時：12月1日（水）
- ・内容：各自のコンセプトをもとに事業プランを作成
- ・講師：百田浩氏

⑧ 第8回：事業プラン発表会

- ・日時：12月8日（水）
- ・講師：百田浩氏

- ・プレゼンテーション（各自のコンセプトの発表）

第7回に準備、最終回の第8回では多くオブザーバー参加者が見守る中で、「1人晴れ舞台」プレゼンテーションが行われました。

カフェ創業、多文化共生、福祉、環境、子育て…etc、多様なジャンルの起業コンセプトが発表されました。

各受講生のプレゼンテーションを視聴した後に、感想や意見、励まし等が書かれたポストイットがたくさん貼られました。



★主な事業計画テーマ

- ・ 未来へのギフト@び・すけっと
- ・ ボーダーレスな英語学習支援～こども未来創造クラブ～人とつながる英語を身につける
- ・ ハートフルオフィス事業～起業するだけで社会貢献
- ・ ブログの翻訳から海外取引まで～外国語に困ったら地域密着型おたすけ翻訳サービス
- ・ フィッシャーズトライ～釣りを通して地域貢献 など

2. コミュニティビジネス起業講座のアンケート結果より

(1) 参加者について:

女性の比率が高く、幅広い世代の起業意欲をもった参加者が集まりました。

男女比：男性（35％）女性（64％）

年齢分布：20代（29％）30代（35％）40代（13％）50代（23％）

(2) 参加者の目的

- ・ コミュニティカフェを起業したい。
- ・ まちづくりのノウハウを学びたい。
- ・ 何が自分にできるのか、模索したい。
- ・ 地元貢献しながら働く方法をみつきたい。
- ・ 夢の実現に向けて、どうアプローチしたらいいか学びたい。

(3) 感想より

- ・ 「仕事は待っていても来ない。自分で創る。」というのは、なるほどと思った。
- ・ 「こんな街にしたい」という気持ちが、まず必要だという話に共感した。
- ・ 豊富な事例でわかりやすかった。
- ・ CBは、地域の人たち自身が主人公になれるいいコンセプトだと思う。
- ・ お金を取る意識。謝礼、講師料の決め方。有償であることの意味など、大変勉強になった。
- ・ 具体的なワークを通して、自分自身の想いや動機を再確認できた。
- ・ 人を巻き込むには、自分の想いを明確に伝えることが重要だと学ばせてもらった。

- ・視点を変えて見ることも大切だとわかった。
- ・自分の掘り下げ方のヒントをたくさんもらった。
- ・自分自身にアンテナを立てて核を作ることが、CBには大事だとわかった。
- ・他の人がやろうとしていることを詳しく聞くことも、参考になった。
- ・「覚悟」はできているけれど、持続可能なしくみ作りが難しい。
- ・想いを形にする難しさ、自分のプランがあいまいなことが分かった。
- ・ここまできたら、10年前からの思いを実現するため何とか頑張りたい。
- ・15秒キャッチコピーが難しかった。固い頭を柔らかくしたい。
- ・やるべきことがいっぱいだな～と実感。仲間もでき始めたので力を借りながらやっていきたい。
- ・発表したり聞いたりして、少しすっきりした。

参考資料②

アンケート自由記述

★質問内容

- ①小平市の満足度を10点に近づけるためには、何があったらいいですか。
- ②日常生活の中で、これは便利、オススメと小平市内の友人にクチコミしたいと思った小平市内の店・サービスを教えてください。
- ③市外の友人が遊びに来たときに案内したい小平市内のおすすめの場所はどこですか。

参考資料② アンケート自由記述

①小平市の満足度を10点に近づけるためには、何があったらいいですか。

地域のネットワーク

- ・ 無縁社会にならないように、さまざまなコミュニケーションの手段を考えること。
- ・ 皆で課題解決に向けて話し合える場。
- ・ 育児や介護のために気軽に利用できる地域の助け合いがあればよいと思います。

安心・安全な街づくり

- ・ 夜になると家の辺りが真っ暗。
- ・ 女性、子どもが安心して夜でも歩ける治安。

道路の整備

- ・ 小平駅（特に北側）の道路は歩行者が安心して歩ける状態ではない。
- ・ 高速道路のICがもう少し近いと助かります。どのICも中途半端に遠く不便なのです。
- ・ 歩道をもっと広く通りやすく。
- ・ 駐輪場、安全な道路。
- ・ 歩道の確保。
- ・ 五日市街道の歩道整備。

交通の整備

- ・ 中央線・京王線沿線へのアクセス。
- ・ 交通の便（都心にもっと短期間で行けるように）。
- ・ 都心とのアクセス改善
 - 1) 西武新宿線と地下鉄・東西線との相互乗入れ。
 - 2) 中井駅への急行停車（大江戸線との乗換えが便利）。
- ・ 踏切の除去。
- ・ 電車の本数を増やしてほしい。

コミュニティバスの改善

- ・ 花小金井方面から東西方向に運行するコミュニティバスなどがあればいい。
- ・ コミュニティバスの路線本数アップ。
- ・ 一橋学園から昭和病院や新小平への便が良くないのでバスなどがあれば…。
- ・ 小平市の西側の地域から小平市役所、健康センター、昭和病院へ直通で行けるコミュニティバス。

商店街の活性化

- ・ シャッター商店の有効活用。
- ・ 高齢化の時代に、御用聞きが可能で、配達や修理に重点をおいた個人商店が増えれば満足度が高い。
- ・ 近くにスーパー、コンビニがほしい。

街の魅力を向上させる

- ・ 水と緑空間を、民有地も含めて保全、再生させること。公園内に、カフェ・レストラン・店舗を開設すること。
- ・ 満点にするには、もっと様々な人との対話をしたいと思います。
- ・ 小平の魅力の発信力向上。
- ・ 緑を保全するための現実的で有効な方針施策。

子育ての支援

- ・ 認可保育園が足りません。私は非常勤勤務なので認可に入れず、認可外保育園を8年間利用してきました。いい保育園で保育の質にはとても満足していますが、保育料が高いです。そして保育士は低賃金でがんばっています。保育はとても人手がかかり、市場原理にはなじまないと思います。行政がきちんと認可園を整えるべきです。この点では、共働きの親たちは小平市に本当にかかりしています。
- ・ 若い住民が増えることが小平の活性化になる。そのために子育て支援センターに集まる年代の意見を集約することはできないか。
- ・ ボールを使って思いきり遊べるような公園の整備。
- ・ 子どもたちが自由に遊べるスペースがない。キャッチボール、バスケットボールができる公園を増やしてほしい。
- ・ 子どもが思いっきり（安心して）遊べる公園や空間。広くて遊具の充実した公園が少ない。子どもが安心して出入りできる施設が少ない。
- ・ 子どもたちが自由に「自分たちのルール」で遊べる広場。
- ・ 「子ども基金」創立、「子ども条例」の制定。地域で子育てを支援、民間でしかできないきめ細かい支援をするために、民間の子育て支援団体を市が支援する。
- ・ 児童館や子育て支援のひろばがあればいいと思います。

医療の充実、介護施設の充実

- ・ 昭和病院の夜間診療が気持ちよく受けられるように。
- ・ 認知症だった義母の介護をしたとき、施設探しの相談に乗ってくれるところが、よくわかりませんでした。介護保険の窓口でもらった冊子を見てグループホームに問い合わせましたが、数も少なくどこも満員でした。知り合いの保健師さんから区部をすすめられ、無事に練馬区のグループホームに入りました。練馬区にはたくさんのグループホームがありました。

ネット環境

- ・ 商店街や、市役所、地域センターなどの公共施設の無線LANスポット。

市の施設の充実

- ・ 市役所に行かなくても全ての手続きができる。
- ・ 建物だけでなく内容も整った図書館等の公共施設。
- ・ 図書館をもう少し遅くまで開けておいてほしい。
- ・ 市民総合体育館にあるような気軽にスポーツを楽しめる場所が、自宅の近くにあると良いと思う。
- ・ 一般人が参加しやすい趣味や学習の講座がもっとあると良い。
- ・ 図書館の充実。本を増やしてほしい。
- ・ 地域センターに広場をつけてほしい。
- ・ 公共施設に駐車場が少ない。

スーパー、大型店の誘致

- ・ 東京街道沿い（新小金井街道から小平駅）にスーパーがほしい。
- ・ 市内に1つぐらい大型スーパー（ヨーカドーやジャスコ）がほしい。

その他

- ・ 需要が少ないのか、手芸店がありません。大型店舗に行くまでもない買い物の時に、フェルトや刺繍糸を100円ショップで選ぶのはとても空しい…。
- ・ 我が家は小金井市に隣接しており、生活圏は小金井市です。市の健康診断が小金井市でもできるように改定してほしい。
- ・ 遠方まで行かなくても新刊本が購入でき、映画が見られる文化度の向上。
- ・ 郵便局のATMの数の増設（いつも待ちます）。

②日常生活で、これは便利、オススメと小平市内の友人にクチコミしたい小平市内の店・サービスを教えてください。

地産地消

- ・ 農家直売所：旬の野菜や、珍しい野菜などを売っているから。食べ方なども、教えてくれるから。
- ・ 無人野菜販売所：野菜の値段が高騰すると集客率が高くなるのが難点であるが、一方、新鮮な野菜がお手ごろ価格で入手でき、豊作の場合、白菜等が1つ50円など漬物用まとめ買いにも重宝。あらかじめ小銭のご用意を忘れずに。
- ・ 体験農園：緑を身近にもつことの素晴らしさ、食べ物を栽培することの苦勞と楽しさ、安全な食べ物の大切さを体験できる。
- ・ JA東京むさしのとりたて新鮮野菜。地元の新鮮野菜と花・植木などを手ごろに買えてうれしい。畑のそばの即売所。100円位でうれしい。
- ・ みのり村直売所：とりたての野菜がおいしい。自家製ジャムも美味。奥さんの人柄。

いい環境の中の素敵な店

- ・ 手打ちうどんの平作：武蔵野神社の門前のうどん屋さん。冬は名物の鍋焼きうどんにいやされます。

<グリーンロード>

- ・ ラグラス：わたしの好きなグリーンロード沿いにある。おいしいものがある。ひとりでも居心地がよい。ケーキをお土産に買って帰ることができます。
- ・ 風のシンフォニー：おいしいランチ、ケーキなど。居心地がよいお店。
- ・ 小平ふるさと村：昔のくらしの雰囲気を楽しめる。

商店街の良さ、コミュニケーションを楽しめる店

- ・ 学園坂タウンキッチン：味にバラつきはあるけれど、仕事で疲れはてた帰り道や、仕事で遅くなるので子どもの食事が作れないとき、少人数分作るのはかえって非経済的、などという場合に本当の家庭の料理が手に入るのありがたい。
保育園のもちつき大会でオードブルを20皿注文。栄養バランスのよい内容で、大人にも子どもにも大好評でした。
- ・ 光が丘商店街：店主さんが一生懸命頑張っています。
- ・ バーモス：緑川通り、小平高校そば。野菜や食料品が安くていい物が多い。野菜担当のご主人が気さくで、いつも外の野菜売り場に立っています。小さいけれど、良心的で暖かいです。
- ・ かしの木のキャラデコケーキ：パテシェのお兄さんが、好きなキャラクターの絵のプレート（クッキー）を作って、デコレーションケーキにのせてくれる。子どもも大喜びです。新しいキャラクターも、絵のコピー等を持っていくと快くOKしてくれます。
- ・ モト：家庭的な定食屋。あまりにも家庭的な雰囲気に好みは分かれるかもしれないが、マスターの手料理の味、量は満足感充分。地元野菜も有効活用。馴染みになり、好みだとわかると「小平産大根の葉や皮のお惣菜」もサービスでいただけたりする。
- ・ 角上魚類：非常に新鮮・品揃えがよく、簡単な加工も気楽に引き受けてくれ、予約は魚介・寿司・料理まででき、ありがたいです。
- ・ 花小金井駅前の肉屋「大徳」：最近では珍しい、安くて色々売ってる、商店街のミニスーパー。アットホームな雰囲気で、地域の繋がりを感ぜられる。
- ・ 花小金井駅前の定食屋「おふくろ亭」：大衆食堂って感じで、学生の頃から長年通い続けている人もいる。そんな懐かしい雰囲気の食堂。
- ・ 豊島屋とうふ店：my タッパーを持っていくと、そこに入れてくれる。エコでよいと思います。お店の方が気さく。トーフドーナツや豆乳フロマージュもあっさりしておいしい。
- ・ ナイトー洋菓子店：隠れ家的要素があり、ワクワクする。懐かしい味。幼少を思い出す。
- ・ 魚広：天神町。電話で頼んでおくと、刺身等を作っておいてくれるし、とてもおいしい。おかみさんが話し好きで、魚料理の仕方等も教えてくれる。
- ・ 歩：クッキー店。年間300種のクッキーを取り揃え、甘くなくオイシイ。今の季節のオススメは桜。
- ・ かずら（うどん屋）：コシがあつてうまい。子ども用のうどんがタダ。天ぷらがあげたて。
- ・ ローリングビーンズ：子ども向けのイベントがよくあり、楽しい。お客さんがみんな子どもに優しい。子どもがいると、タバコもお客さんから一声かけてくれる。暖かい人が集まっています。
- ・ ヴェルデ：社会福祉法人未来。市内の作業所のお菓子。素材のおいしさそのままのやさしいお味。スローフードの豊かさを感じます。

配達などの付加価値

- ・ コーラ米店：いつも30キロ袋の玄米を配達してもらっています。電話をすると、顔なじみの店員さんが家まで配達してくれて、家の中の食品庫まで運んでくれるので助かります。
- ・ 佐野商店：灯油を配達してもらっています。電話をするとその日のうちに来て、外にあるタンクに入れてくれます。留守でも大丈夫です。
- ・ 日本堂文具店：小学校の役員をした時、クラスの子どもたちへの記念品（文具）を注文。おまけをつけてくれて、子どもたちも喜びました。頼めば配達もしてくれます
- ・ なかむら（お団子、お弁当）：保育園で夜に父母会の会合や委員会等があるので、その時にお弁当を配達してもらっています。値段やお弁当の内容について相談に乗ってくれるし、数が少なくても配達してくれます（保育園のOBだからかも？）
- ・ 長江宴：よく出前をお願いする中華料理屋さん。気のいい店主が配達してくれます。ボリュームがあつておいしいです。忙しい保育園のママ友にもすすめています。
- ・ SEIYU の宅配サービスが便利。
- ・ 小平団地北口商店会の「前田青果店」は重い野菜を配達してくれる。鮮度も良い。
- ・ 鈴天通り商店会の「なかずし」は高齢者向けに手作り惣菜小パック数種類を週1回売り出してくれる。店主の温かい気持ちのこもった味がする。
- ・ 仲町多摩ストアの「まるやす」はどんな予算でもどんな数でも、弁当や仕出し、パーティの相談に乗ってくれる。
- ・ 自転車なおしマンさん：自転車の修理を電話で頼むと、遅くても翌日には来てくれます。料金も良心的です。ちなみにパンク修理は、800円です。小平の我が家に来てくれますが国分寺の修理屋さんかもしれません。

希少価値

- ・ 美正堂：画材屋さん。子どもが絵画教室に通っているのので、額や紙など買います。ほかに専門店があまりないので、貴重な存在。
- ・ 文具の日本堂：品ぞろえは同じ日本堂の三鷹店に比べれば多くないが、何でも揃うし、便利で安い。
- ・ 有楽製菓の直売チョコレート：おいしいし安い。

子育て支援

- ・ NPO 法人子育て広場きらら：子育てで困ったと感じたその時、力になります！子育て中の人にはもちろん、子育て支援中のジジババにも子育て時代にこういうサービスがほしかった。オールドママにも知ってほしいきららの優しさ、あつたかさ。
- ・ ファミリーサポートセンター：どんな理由でも子どもを預かってもらえる。登録しておけば、いざと言うとき頼りになるのは心強いと思うので。
- ・ 公民館：保育のよさ、出会い…地域デビューにはぴったりです。
- ・ こだいら自由遊びの会：森で遊ぼう、夏休み中に雑木林の中でくりひろげられるダイナミックな遊び。
- ・ 講座とその後のグループに付く保育サービス：公民館の保育サービスと無料の部屋貸しは市民活動を活性化するサービス。

- ・ 児童館の囲碁・将棋講座：子どもが初めて覚えるのにちょうど良い。
- ・ 小平少年少女青空学校：友だちがたくさんできました。
- ・ 準夜応急診療：子どもが小さい時は、本当に心強い存在だった。

その他

- ・ FC 東京の練習グラウンド。
- ・ 公立昭和病院：ご縁がなければそれでよし。しかしイザという時に心強い。特に脳外科には定評があるようで、組織した多摩北部 8 市以外からの入院患者も少なくない。
- ・ Mystyle@こだいら：小平を語る上で欠かせない NPO 法人。小平に住み始めた頃からこだいらネットやこだいら探検隊で、NPO の存在を知らずして発信情報のお世話になっていた。
- ・ セイムズ：ドラッグストアなのに野菜がある。
- ・ 図書館の予約サービス：自宅から予約できて子どもが便利に使っている。
- ・ 新小平駅近くのギターショップ・未来屋：二中出身の人は無料でギターの弦を替えてもらえる。店長のおじさん面白い。
- ・ ペットシッター・エアロウィング：家族に代って犬の世話をしてくれる店。家族みんなで泊まりの旅行などをする時、散歩やえさやりなどをやってくれる。希望すれば郵便受けの新聞などもとっておいてくれる。
- ・ コイン精米：保存の玄米をいつでも簡単に新鮮でおいしい白米にすることができる。料金も安い。ぬかはただでもらえる。
- ・ 佐々木クリニック：大沼町の耳鼻科。待合室の案内が貼ってあり、携帯電話で登録すると自宅にいながら順番が取れる。待ち時間も携帯で調べられるので、それまで自宅で用事を済ませることができる。
- ・ ぶるべ一号（コミュニティタクシー）：お年寄りにも乗り降りしやすい感じです。

③市外の友人が遊びに来たときに案内したい小平市内のおすすめの場所はどこですか。

近郊農業の魅力

- ・ 体験農園：素人でも取り組める可能性を見せたい。
- ・ ブルーベリーの摘み取り農園：遠くまで行かなくてもレジャー気分を味わえるので市外の友人に遊びに来てもらった時に一緒に楽しめる。
- ・ ベンズファーム：鈴木町。ブルーベリーの摘み取りができる。トレーラーハウスのカフェがあり、お茶や簡単な昼食も食べられる。
- ・ 畑からまっしぐら・無人スタンド：東京でしょ？と驚かれます。味、鮮度申し分なし。

身近な自然を楽しみながら散歩やサイクリングを楽しむ

<小平ふるさと村>

- ・ タイムスリップした気分になれる。

- ・ 糧うどんが食べられ、ちょっとなつかしい気分になれる。
- ・ うどんはうまいし、入園無料。昔の家並みが日常を忘れさせてくれる。

<狭山・境緑道>

- ・ 散歩やサイクリングに最適、道中に無人野菜販売なども楽しめる
- ・ グリーンロードとグリーンロード沿いのカフェ。ラグラス、風のシンフォニー、おいしい時間、など。散歩とゆったりした時間が同時にすごせる。
- ・ いつ、どの場所へ行っても、なにかしら見つけることができるからです。それは冬芽だったり、桜だったり、木陰だったり、落ち葉だったり…。人にも出会えます。とにかくたくさんあります。定期的に見に行くのは、ユーカリの木です。ユーカリがこんなに大きくなるとはびっくりです。狭山・境緑道の萩山あたりです。
- ・ 行政と市民の協力で創り上げた最高作品。
- ・ 安全に歩行できて、しかもところどころに特徴のあるお店があって、休息もできる。
- ・ 春は桜、秋は紅葉がきれい。桜のシーズンの水道道路（サイクリング道路）：桜のトンネルは圧巻。

<玉川上水沿いの散策道>

- ・ とくに紅葉の時期が好きです。川のせせらぎの音と、コゲラの鳴き声に癒されます。
- ・ 生活環境に溶け込んだ緑の素晴らしさとそれを市民が参加して維持管理している努力を教えたい。
- ・ こもれびの足湯：玉川上水などウォーキングしたあとに最適。
- ・ 何も考えずに歩くと心が安らぎます。
- ・ 平櫛田中彫刻美術館の後、玉川上水散策、「四季亭」で食事。平櫛田中彫刻美術館は、落ち着いた空間である。心おだやかになり、長生きしようと思う。
- ・ 木々の間を歩き、草木を愛で、屋外展示コーナーの写真などを鑑賞するもよし、近辺に点在するセンスの良い喫茶室などで一休みするもよし。
- ・ 鳥や虫の鳴き声、樹々を渡る風の音を聴き、ひっそりと咲く野草の花たちを愛でることで、日々の忙しさに追われて、忘れかけている本当の自分に戻れる…
- ・ さんぽして足湯につかって電車で帰る…いいコースです。そんな不思議な空間です。
- ・ 玉川上水オーギャラリー：日曜日ごとに、季節ごとの観察ポイント、鳥、虫、木のつながり etc を教えてくださる。写真がすばらしい。2月から発行されている冊子「玉川上水の四季」が秀逸。
- ・ 昔の面影（武蔵野の雑木林）の残っている数少ない場所。
- ・ 社会の教科書にも載っているくらい有名だし、五日市街道が近くを通っていることを忘れられるくらい落ち着いた空間。

<野火止用水>

- ・ 野火止用水沿いの桜並木…大木が並んでいて見応えあり。市民ボランティアが清掃していることも教えたい。
- ・ 野火止用水のホタル：ホタルが身近に見られる場所。

<中央公園>

- ・ 個人的な一押しは、ケヤキの新芽時とイチョウの黄金色時。イチョウの落葉の上を歩くのはゴールデンカーペットの上を歩むがごとき心地。ただし、イチョウ葉は繊維が強いので、雨上がりの歩行は滑らないように要注意。
- ・ 雑木林など緑に囲まれて落ち着ける。
- ・ 中央公園東側の雑木林と玉川上水：身近にあり、人のくつろぐ林。子どもたちも安心して遊ぶことができる。
- ・ やわらかい土と武蔵野の多様な木々、鳥のさえずり、木々のさざめき、夏の涼しさ…etc

<小金井公園>

- ・ 花の名所。一日いても回りきれない広さと施設の充実度。
- ・ ユーカリ広場では、予約なし、当日申込みでバーベキューができます。(昭和記念公園と違って道具レンタルはありませんが)
- ・ 30年前は雑木林が残っており素晴らしいところでした。整えられすぎて残念ですが、まあまあ毎日の犬の散歩と植物観察で楽しませていただいております。

お気に入りの店

- ・ ル・セル：おみやげには、だいたいたかの街道沿いにある「ル・セル」のケーキを買っていきます。
- ・ クッキーの kawai：玉川上水沿いにあり散策の途中で寄れる。ロケーションと味の確かさ。
- ・ ラグラス：どこかゆっくりカフェで話したいときは「ラグラス」に行きたいと思います。お料理・雰囲気がいいのとグリーンロードにあり小平の良さを合わせて感じてもらえる。あじさいの時期にはとなりの公園にたくさんの花が見られ、食後に散歩するのもおすすめ。
- ・ マ・メゾン：落ち着いた雰囲気、おいしい。料理もおいしいし、雰囲気が好き。
- ・ 風のシンフォニー：靴を脱いで一般家庭の雰囲気で食事をできるから。一生懸命作られた食事も good！
- ・ ドリアン：喫茶店付きのケーキ屋さんだから。
- ・ 珈琲の香：コーヒー好きには、ほどよい値段でおいしい。
- ・ 永田珈琲：至福の一杯です。
- ・ アスペル：チーズケーキがおいしい。
- ・ クオーレ：落ち着いた感じのお店で、奥様ランチなどがおいしい。
- ・ 甚五郎：一橋学園のロータリー近く。国分寺の支店ですが、ボリュームとうどんのめんのうまさは昔の武蔵野の開拓農民の食を思わせます。
- ・ 茂七：極太のおうどんが独特で、とてもおいしい。
- ・ 手打ちうどん指田屋：もりうどんにゆでた野菜で食べる小平界限独特の“糧(かて)うどん”が看板メニュー。
- ・ やきとり・かんきち：ちょっと店は狭いが、料理がおいしい。値段も手ごろ。
- ・ ギャラリーカフェ・青らんぎ：落ち着いた雰囲気作品を鑑賞でき、お茶も飲めるので楽しめる。オーナーも気さくな方。
- ・ 茶房萌木：花小金井。薬膳がゆ、おからまんじゅうなど珍しいメニューがあるのと、落ち着いた店

内でくつろげる。

- ねじれたゴリラ堂：花小金井。他にはちょっとない中古絵本の専門店。オーナーの豊かな感性や話がおもしろく、良質の絵本がそろっている。大人も楽しめる。
- 葡萄家：おしゃれな洋食のお店で、雰囲気が良いです。
- 野の花：とってもステキ。空間も品物も。
- 梁里館：丁寧に作られ余計な味がしない。素材がおいしく感じられる。強火でマスターが作る中華料理はどれもおいしい。
- 藤乃：たかの街道、1000円でおいしいお魚のランチが食べられる。安くてボリュームがあって、おいしいから。

その他

- FC 東京の練習グラウンド。プロサッカークラブがある市町村はごく一部に限られており、地元のプロサッカークラブがあることは自慢であるため。プロのサッカークラブのクラブハウスがあることは、小平市の地域資源であると思うから。
- 下水道館：珍名所
- 第一パンアウトレット：激安
- テルメ小川：釜風呂
- きららの広場：子育て中のママたちにはもちろんきららの広場。ママを甘やかさないけど大事にしてくれるよ。
- 無料のプチ博物館「ふれあい下水道館」「ガスミュージアム」（がす資料館、大沼町）は、貴重な昔の暮らし等もわかり、なつかしい。下水道の中なんて知らなくてもいいけど、知ってみると奥が深い。ガスの歴史も知らなくてもいいけど知ってみるとノスタルジーやありがたさを感じる。どちらも熱心なおじさんがいたりして、誇りを持って仕事してるよ。
- ルネこだいら：一流の音楽を安価で楽しめる。前に立つ日本一の丸ポストも自慢できる。
- 市で出している観光マップ（歩くとまっぷ、観光エリアマップ、ガーデンマップ等）：散歩するのにもちょっとした地図があると目的や場所探しに役立っている。

終わりに

『自分たちが暮らすまちで、家族との生活も大切にしながら、まちが元気になる仕事＝コミュニティビジネスをつくりたい』

私たち NPO 法人Mystyle@こだいらは、そんな想いから平成 18 年に活動をスタートしました。立ち上げメンバーは、PTA 活動で出会った母親たち。熱意とやる気満々にスタートし、さまざまな活動を通じた出会いの積み重ねの中で、活動メンバーの幅が広がるとともに、地域の中に多くのつながりをつくることができました。

向こう三軒両隣の和気あいあいとしたご近所づきあい。おじいちゃん、おばあちゃんからお孫さんまでの 3 世代同居の大家族。かつてまちのなかに普通にあった暮らしは、時代の変化に伴って、いつしか思い出として語られるようになりました。

時代の変化の中で、便利さや豊かさを手に入れるかわりに、何かをなくしてしまったかもしれない私たち。いま、同じものを復活させることは難しいかもしれませんが、新しい手法で、地域のつながりをつくり、信頼と安心をベースとした暮らしを取り戻すことはできるかもしれません。

私たちは、その実現の可能性をコミュニティビジネスに見出し、その活性化を目指しています。

そんな中、このたび、小平市の「いきいき協働事業」の制度がスタートし、みずから提案したことを、市とともに協働事業として実施する機会をいただきました。

本事業は、以下の 3 つの事業の柱のもとに実施されました。

①地域の方たちにコミュニティビジネスを知っていただき、まちへの思いを語り合う対話の場をつかった「コミュニティビジネス入門講座」。②みずからコミュニティビジネスを起業し、まちの課題解決に挑戦する方たちの学びと実践の場である「コミュニティビジネス起業講座」。③小平に暮らす市民の方たちの率直な意見を聞き、今後の小平のコミュニティビジネスの可能性をさぐった「調査事業」。

本報告書は、これらの事業の集大成としてとりまとめたものですが、報告書ということだけではなく、これからコミュニティビジネスを始めようという方たちにとってのガイドブックとして、また、コミュニティビジネスに関心を持つ方への参考資料として活用していただけるものを目指して作成しました。

折りしも、この報告書を作成している最中に、東日本で大震災が起こりました。被災地の方たちだけではなく、全国の人たちにとっても、この未曾有の災害を乗り越えるために、長い復興の活動への挑戦が始まりました。

いま、私たちは歴史的な変化の真っ只中にいるのかもしれません。時代の大きな変換点の中で、今後、コミュニティビジネスが果たす役割は、ますます大きなものとなっていくことと思われます。本書を多くの方の手にとっていただき、まちの元気づくりの一端で役立てていただければ幸いです。

平成 23 年 3 月

NPO 法人Mystyle@こだいら

代表理事 竹内 千寿恵

<平成 22 年度 小平市いきいき協働事業>

CBガイドブック 小平市コミュニティビジネス調査報告書

平成 23 年 3 月

発行 小平市市民生活部産業振興課

〒187-8701

東京都小平市小川町 2-1333

TEL 042-341-1211(代表)

<http://www.city.kodaira.tokyo.jp/>

NPO 法人 Mystyle@こだいら

〒187-0032

東京都小平市小川町 2 丁目 1326-7-103

TEL 042-348-8456

<http://mystyle-kodaira.net/>

調査・編集 NPO 法人 Mystyle@こだいら

竹内 千寿恵・岩嶋 寿子・多田 智子